

梅雨前線に伴う降雨による防災情報(第3報)

新庄河川事務所では、災害対策支部(注意体制・砂防)を設置しておりましたが、立谷沢川流域の肝煎雨量観測所で降り始めからの連続雨量が80mmを超えました。

今後、天候の状況を見て立谷沢川流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制

7月11(火) 5時00分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

7月11(火) 5時40分 災害対策支部(注意体制・河川)設置

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害の恐れがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害の恐れがある場合

2. 雨量情報(7月11日 7時00分現在)

[鮭川流域]

小又雨量観測所 連続雨量95mm(降雨継続中)

主寝坂雨量観測所 連続雨量91mm(降雨継続中)

[立谷沢川流域]

肝煎雨量観測所 連続雨量82mm(降雨継続中)

2. 河川情報(7月11日 7時00分現在)

河川名	観測所名	現在の水位	状況	水防団待機水位(レベル1)	氾濫注意水位(警戒水位)(レベル2)	避難判断水位(レベル3)	氾濫危険水位(危険水位)(レベル4)
鮭川	真木	2.97m	上昇中↑	2.50m	3.50m	6.00m	6.90m
金山川	平岡橋	1.88m	横ばい→	1.80m	2.50m	3.10m	3.50m

3. 今後の見通し

引き続き河川の水位が上昇する恐れがありますので、今後の気象情報等にご注意願います。

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262

副所長(河川) 田中 和博(内線204)

副所長(砂防) 齋藤 信哉(内線205)

調査課長 荒澤 慎一(内線351)